

令和6年度 授業改善推進プラン全体計画

小平市立小平第十四小学校

〈関係法令等〉

日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領
東京都教育目標・小平市教育目標

〈学校教育目標〉

◎たくましい子
強靱な意思と実践力をもち、心身共に健康でたくましく生きる子ども
○考える子
自ら学ぶ意欲をもち、主体的に問題を解決しようとする子ども
○やさしい子
自然を愛し、他人を思いやる豊かな心をもつ子ども
○おこなう子
勤労・奉仕の精神を尊び、自主的・自発的にすすんで行動する力をもつ子ども

〈目指す学校像〉

1 生きる力を育む人間の健全なる成長を促す場
2 基礎・基本を身に付ける場
3 知・徳・体のバランスのとれた教育活動を行う場

〈各教科等の授業改善の視点〉

【国語】
・「書く」活動の継続
・学校図書館の活用
・ことばの時間の充実
・漢字や言語の特質の理解
・読書の推進
【社会】
・資料の読み取り(解釈・説明)の習熟
・表現の仕方の習熟
・用語を適切に活用した意見の交流
・地図帳、年表等の活用の推進
【算数】
・問題解決的な学習の充実
・四則計算の習熟
・習熟度別指導の徹底
・個別支援の充実
・ノートを取り方や発表の仕方の統一
【理科】
・問題解決的な学習の充実
・事物・現象の確認の徹底
・比較・関係付け・条件制御・推論の資質向上
・考察する力の向上
・観察・実験(器具の扱い)の習熟
【生活科】
・地域参画型授業の充実
・学び・遊びの交流や発信
【音楽】
・表現活動の工夫
・鑑賞活動の充実
【図画工作】
・様々な表現方法や素材の体験の充実
・鑑賞活動の充実
【家庭科】
・よりよい生活のための実践(生活の見直し・気付き)
【体育】
・帯活動による体力向上
・昨年の体力テストの結果に基づく重点的な指導(投てき、持久力、俊敏性)の実施
【道徳】
・話し合い活動や振り返りなど授業形態の工夫
・道徳で育んだ心情・判断力・態度を日常的に活用
・生命尊重・いじめ防止に関する心情育成
・資料の精選(多彩な間接体験)
【総合的な学習の時間】
・探究的な学習の推進
・地域貢献型学習の充実
【外国語科・外国語活動】
・学習展開のスタンダード化
・小・中連携教育の強化
【特別活動】
・学年(学級)文化の創造
・きょうだい学級の関わり
・学級会(1)による自主的、実践的な活動

〈学力向上にかかわる学校経営方針〉

授業力の向上

①主体的・対話的で深い学びの実現
★新学習指導要領の主旨を踏まえた授業改善
★校内研究の充実(学級会(1)…自分の考えをすすんで表現し、より良い人間関係や生活をつくる児童の育成)
★道徳、外国語(活動)、プログラミング教育の充実
★教員自身の授業力向上

②基礎学力の定着
★授業規律の徹底
★めあてと振り返り どの子にも分かる授業「分からない0」
★「こだいらこれだけは」の徹底
★外国語(活動)の学習を通した異文化理解教育の推進、コミュニケーション能力の育成
★読書月間を設定、金曜日の朝読書、読書カレンダー、おすすめの本カードなどによる読書活動の推進

③体力の向上・運動への関心・意欲の向上
★準備運動・集団行動等の指導方法の改善
★体育的行事の取組方法の改善
★「十四小トライアル」等、体育的活動の充実
★「楽しみながら運動プログラム」の活用

〈本校が目指す確かな学力〉

自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、
よりよく問題を解決する資質や能力

筋道を立てて考え、判断する力

学んだことを、次の学習や生活に生かす意欲

身に付けた知識や技能、考え方を活用する力

自分の考えをもち、表現する力

各教科等で身に付ける基礎・基本

学習の基盤となる読み・書き・計算・体力

課題を発見し、課題解決までの見通しをもち取り組む力

学年相応の知識や技能

基本的な学習習慣・生活習慣

〈授業改善推進のPDCA サイクル〉

【1学期】
・児童の学力実態把握
・休み時間・人間関係調査
・自己申告書作成
・ふれあい月間いじめ調査
・授業改善推進プラン作成
・校内研究
・学校評価アンケート
・児童アンケート

Plan

Do

Check

Action

【2学期】
・校内授業研究
・自己申告書 中間報告
・学校評価アンケート
児童アンケート
保護者アンケート
・ふれあい月間いじめ調査

【3学期】
・自己申告書 最終報告
・校内授業研究
・ふれあい月間いじめ調査
・次年度引き継ぎ(仮案の作成)

〈授業改善振り返りの視点・児童の実態〉	学校経営目標(短期)			
	学力向上			健全育成
	主体的・対話的で深い学びの実現	基礎学力の定着	体力の向上 運動への関心・意欲の向上	道徳教育の推進 異学年交流活動の充実 異文化理解教育の推進
	・児童が意欲的に取り組むための導入の工夫をする。 ・ICT 機器の活用やノート指導など、自分の考えを表現させる指導を工夫する。 ・ペアでの対話や全体交流、ICT 機器の活用を通して、互いの課題解決を意識した学習を行う。 ・問題解決的な学習を実施する。	・学習規律の徹底をする。 ・明確なめあての提示をする。 ・補習や家庭学習等による学び残しや、つまずきの解消をする。 ・教科指導と関連付けた図書館資料の活用を行う。	・運動量を十分に確保した授業をする。 ・めあてを意識して運動に取り組ませる。 ・めあてに応じた振り返りをする。 ・体育的行事の取組方法の改善を図る。	・集団生活の中で自主的にルールを築いたり、自治的な活動を進めたりする。 ・あいさつ運動など自発的な活動を続ける。 ・いじめを許さない意識をもち、行動を見直す。 ・授業の中で体験を通して、学ぶ時間を重視する。